

独メッセ・デュッセルドルフ、パンデミックから順調に回復
2021年度の業績を発表

Messe Düsseldorf GmbH (メッセ・デュッセルドルフ社、代表取締役社長ヴォルフラム・N・ディーナー) は 2021 年度の業績を発表しました。

2021 年度のグループ全体の業績は 1 億 870 万ユーロとなり、2022 年 2 月に発表された速報値 (1 億 200 万ユーロ) より若干の上方修正となりました。メッセ・デュッセルドルフ社単独でも 9,610 万ユーロで、こちらも当初予想の 9,300 万ユーロを上回りました。これに伴い、当初 2,500 万ユーロと予測されていた損失額も、2,230 万ユーロへと改善されています (前年度: 4,350 万ユーロの損失)。

また、自己資本比率も改善傾向にあり、グループ全体で 63.6%、メッセ・デュッセルドルフ社で 61.4%とそれぞれ前年度より若干の改善を見せました (前年度グループ全体: 62.2%、単体: 60.1%)。依然として自己資本比率は高く、メッセ・デュッセルドルフの強固な基盤が維持されています。

メッセ・デュッセルドルフ社代表取締役ヴォルフラム・N・ディーナーは、「戦略的な配置転換、緊縮財政、大方の COVID 関連規制の廃止等により、ゆっくりと、しかし着実にパンデミックから回復しつつあります。メッセは依然として重要な産業です。数々の施策を実施し、今後数年間で本来の経済力を取り戻せると期待しています」と述べています。

【2022 年度のさらなる業績を期待】

財務・インフラ担当専務理事ベルンハルト J・シュテンプフレは、世界情勢やパンデミックにより依然として先行きは不透明であり、2022 年の状況を判断するのは時期尚早、かつ今後も若干のマイナス局面が予想されるものの、現況のまま安定的に推移すれば業績倍増も可能と強調しています。2022 年 5 月 18 日の株主総会では配当の見送りを決定しました。

メッセ・デュッセルドルフは 5 月から、2 本の国際見本市「BEAUTY (5/6-8)」「TOP HAIR (5/7-8)」を皮切りに、ワイン&スピリッツ業界を牽引するメッセ「ProWein (5/15-17)」、リテール技術の見本市「EuroCIS (5/31-6/2)」、そしてワイヤー・ケーブル・チューブの国際見本市「wire & Tube (6/20-24)」で春のメッセカレンダーを埋めています。2022 年は計 14 本のメッセと 11 のパートナー・ゲストイベントが開催される予定です。特に 10/19-26 までデュッ

セルドルフで開催される世界最大のプラスチック・ゴムの見本市「K 2022」は、今年の業績に大きく貢献することでしょう。

【戦略的なパートナーシップの構築】

国際見本市業界での競争力維持にむけ、メッセ・デュッセルドルフは7つの戦略分野を定めました：グローバルな事業展開、新テーマとサービスの開発、セールスの強化、デジタルトランスフォーメーション、企業文化、未来に向けた展示会場づくり、そしてプロセスの最適化です。

最初の成功事例として、米・ワシントン D.C.にある先進自律システム・ロボット工学における世界最大の団体である AUVSI (Association for Uncrewed Vehicle Systems International) と新しいパートナーシップを結びました。AUVSI は毎年、陸海空すべての無人・自動操縦システムにおける世界有数の見本市「XPOTENTIAL」を開催しており、メッセ・デュッセルドルフのポートフォリオ発展に期待が持たれます。

またドイツ国内のポートフォリオもさらに発展させ、従来のエネルギー貯蔵に関する見本市「ENERGY STORAGE」の出展分野を広げ、CO2削減技術もテーマに含めた「decarbXpo」(Expo for Decarbonised Industries > ENERGY STORAGE) を 9/20-22 に開催します。

2021年には「ProWine São Paulo」「ProWine Mumbai」の2つのイベントが新たに開催され、2022年にはさらに7つのイベント（「REHACARE SHANGHAI」「MEDICAL FAIR BRAZIL」「COLOMBIAPLAST」「CorruTec Asia」「GIFA Southeast Asia」「METEC Southeast Asia」「FoodAfrica Cairo」）が新たにポートフォリオに加わります。メッセ・デュッセルドルフの活動は、特にアフリカ、南米、アジアなどのダイナミックな成長市場にフォーカスしています。メッセ担当専務取締役のエアハルト・ヴィーンカンプは、「私たちがドイツ国外で見本市を開催することにより、対象地域の経済発展促進に寄与し、多国籍企業のために魅力的な市場が開拓され、本場デュッセルドルフの No.1 メッセに新規顧客を呼び込むことができるのです」とグローバルに成長するメリットを強調しています。

昨年はメッセ・デュッセルドルフ会場で8つのメッセとゲストイベントが開催され、5,906社の出展企業と266,329名の来場者が集結しました（2020年：7イベント、出展企業5,422社、来場者493,472名。2019年：29イベント、出展企業29,222社、来場者1,373,780名）。

全文（英語）は[こちら](#)
[Factsheet](#)

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町4-1 ニューオータニ ガーデンコート 7F

TEL: 03-5210-9951 e-mail: mdj@messe-dus.co.jp